国立民族学博物館

企画展

伊勢の染型紙

児玉博さんによる民博のスタジオでの型紙の彫刻（1978年）

―映像と実物にみる匠の技―

2010年3月25日〔木〕-6月29日〔火〕

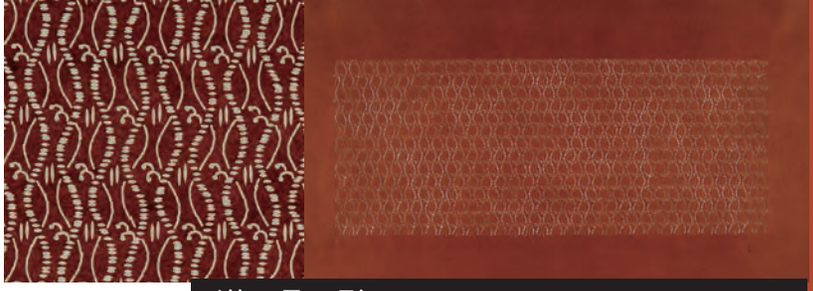
みんぱく携帯サイト

開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）　休館日：水曜日（水曜日が祝日の場合は、翌日が休館）

観覧料：一般420円(350円)、高校・大学生250円(200円)、小・中学生110円(90円) 無料観覧日：5月5日(水・祝)、音楽の祭日(6月予定)

＊（　）内の観覧料は、20名以上の団体料金、大学等（短大、大学、大学院、専修学校の専門課程）の授業でご利用の方、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金（要証明書等）を示します。＊自然文化園（有料区域）を通ってこられる場合、自然文化園各ゲート脇の券売機で当館（国立民族学博物館）の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。＊障害者手帳をお持ちの方は付添者1名とともに、無料で観覧できます。また、毎週土曜日は、小学生・中学生・高校生は無料で観覧できます。ただし、自然文化園を通行される場合は、同園の入園料が別途必要です。

協力：鈴鹿市／伊勢型紙技術保存会／丸池藤井株式会社／藍田染工／服部染工



道具彫

企画展 伊勢の染型紙

映像と実物にみる匠の技

縞彫＋糸入れ

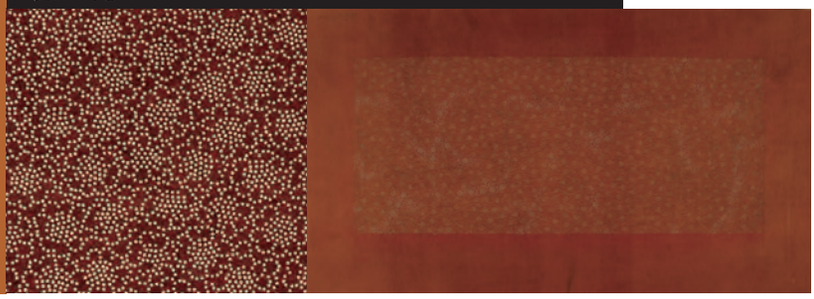
和紙を柿渋で貼りあわせた渋紙に、彫刻刀で模様を彫った染型紙を使って布面に糊を置き、その後に色染めをする型染は、日本の伝統的な染色技法です。江戸時代には型染が日本の各地でおこなわれ、染めあがった布はおもにキモノの布地としてもちいられてきました。型染に欠くことのできない染型紙は、伊勢（三重県）の鈴鹿市白子（しろこ）と寺家（じけ）がおもな産地で、伊勢で彫られた染型紙は各地の染屋に供給されて、「伊勢型紙」の名でもてはやされてきました。明治時代以降の日本人の衣服の洋風化にともない、型染のキモノの需要は次第に減少し、必然的に「伊勢型紙」の需要も減少していますが、その精緻な製作技術の伝統は、21世紀の今もしっかりと継承されています。

国立民族学博物館では、開館当初の1978～1980年に、はじめての映像資料作成プロジェクトとして、本館スタジオ、ならびに鈴鹿市白子と寺家で、国指定の重要無形文化財保持者（人間国宝）をはじめとする方々の縞彫、突彫、錐彫、道具彫などの彫刻技術と、彫刻した型紙を補強するための糸入れ技術の映像取材をおこなうとともに、そのさいに製作された型紙を収集しました。

本企画展では、それらのビデオ映像と「伊勢型紙」を、江戸時代から明治時代頃に使われていた古い「伊勢型紙」や見本帳、国指定の重要無形文化財保持団体である伊勢型紙技術保存会の方々によって製作された現代の「伊勢型紙」、彫刻刀その他の型紙製作用具、「伊勢型紙」を使って染められた布やキモノとともに展示します。さらに、関連資料として、現代のプリント技術で染められた反物やキモノもあわせて展示し、「伊勢型紙」の精緻な匠の技とともに、現代社会から急速に姿を消しつつある手仕事の実情を紹介します。

突彫

錐彫



企画展関連催し物

●**ギャラリートーク…** 解説/**吉本 忍**（本館教授）
4月6日(火) 14：30～15：30／5月18日(火) 14：30～15：30／6月15日(火) 14：30～15：30

●**みんぱくウィークエンド・サロン…「伊勢の染型紙」**/**吉本 忍**（本館教授）4月25日(日) 14:30～15:30

交通のご案内

＊国立民族学博物館（みんぱく）は大阪・千里の万博記念公園内にあります。
「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

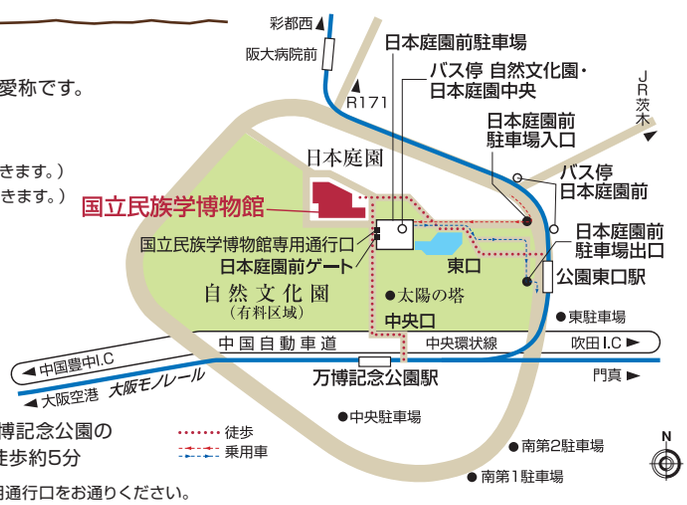
●**大阪モノレール**
「万博記念公園駅」下車徒歩約15分
（展示をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。）
「公園東口駅」下車徒歩約15分（「公園東口駅」からは自然文化園を通行せずに来館できます。）

●**バス**　〔**近鉄バス**〕（阪大本部前行き）阪急茨木市駅から約20分
ＪＲ茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
〔**阪急バス**〕（万博記念公園駅経由千里中央行き）
阪急茨木市駅から約20分、ＪＲ茨木駅から約10分
「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●**タクシー**　万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

●**自動車**　駐車施設が無いため「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場（有料）をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

＊「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



お問い合わせ先：国立民族学博物館 〒565－8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号 TEL:06-6876-2151 http://www.minpaku.ac.jp/